

## 令和元年度 福島工業高等専門学校における海外学生派遣プログラム一覧

プログラム名	実施時期	派遣先国・都市名	派遣先機関名	概要・目的	対象	応募資格	本校における定員	概算自己負担費用	補助金
国際原子力人材育成イニシアティブ事業プログラム JAEAワシントン事務所フォーラム	6月24日～28日(予定)	アメリカ・ワシントンDC	JAEAワシントン事務所	JAEAワシントン事務所フォーラムにおいて福島高専の廃炉・原子力・環境回復に関する取り組みについてポスター発表を行う。	全学生	特に無し	1名	約3万円程度	文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業から旅費支給有
日タイ高校生ICTフェア	6月7日～6月9日	タイ・ピサヌローク	プリンセスチュラポーンサイエンス ハイスクールピサヌローク校	タイ国立中高一貫校であるプリンセスチュラポーン・サイエンスハイスクールとの国際交流を目的とし、2015年から行われているタイ全土及び日本のスーパーサイエンスハイスクール・高専からの学生が参加して研究活動成果を英語で発表するフェア。	本科3年生	コンピューターサイエンス又は情報通信技術について学んでいること、及び英語でのプレゼンテーションを行える者が望ましい。	4名	約5万円程度	タイ教育省が現地交通費・宿泊費・食費を負担。
オタゴポリテクニク就業体験プログラム	9月5日～9月23日	ニュージーランド・ダニーデン	オタゴポリテクニク	現地の家庭でホームステイをしながら、オタゴ・ポリテクニクにおいて、約2週間の英語による就業体験プログラムを行い、就業経験に必要な英語を学ぶとともに、異文化コミュニケーション力の向上を目指す。	本科3年生	TOEIC400点以上又は英検準2級以上の英語力を有していることが望ましい。	1名	約26万円程度	本校国際交流基金から10万円程度の補助有。(※2)
専攻科海外インターンシップ	8月3日～11月末までの間で3ヶ月以内	①フランス ②フィンランド ③オーストラリア	①フランス技術短期大学 ②トゥルク応用科学大学、ヘルシンキメトロポリア応用科学大学 ③ジュームズクック大学	学生の交換留学を支援することにより国際交流促進を図り、さらに「国際的に活躍できるエンジニアの養成」を目的とし、各派遣先期間の指導者の下、それぞれの研究テーマにおいて実験・実習を行い、英語を使って新しい技術と知識を習得する。	専攻科1年生	①・②成績評価係数2.3以上かつ、TOEICスコア450点以上の英語力を有していることが望ましい。 ③特に無し	各派遣先につき2.3名程度(自費による渡航の場合はこの限りではない)	①約20万円程度 ②約20万円程度 ③約65万円程度	JASSO奨学金(月額7～8万円)へ申請可。(※2) 又は、国際交流基金から4～14万円程度の補助有。(※3)
廃止措置研究・人材育成等強化プログラム 高専海外サマースクール	8月25日～31日(予定)	ウクライナ・チェルノブイリ オーストリア・ウィーン	チェルノブイリ原子力発電所、IAEA(予定)	原子力事故を起こしたチェルノブイリの現状を理解し、福島復興や廃炉について役立てる。また、IAEAを訪問し、福島事故対応や原子力に関する取り組みについて理解する。	本科4年生以上	原子力や放射線、廃炉の分野に就職を希望する学生、関連する卒業研究に取り組んでいる学生を優先する。	最大5名(ただし、事前課題による選抜、他高専生からの応募も有)	約5万円程度	文部科学省委託事業(廃止措置基盤研究人材育成事業)として、本校から旅費支給有。
原子力規制人材育成プログラム セラフィールド研修	9月中の1週間程度(予定)	イギリス・セラフィールド、シェフィールド	セラフィールド社、シェフィールド大学	海外における原子力発電所廃止措置に関する最先端の研究開発の現場を見学し、現地の研究者等と意見交換を行うことで、廃止措置に関する知識を深める。	本科4年生以上	環境回復や、原子力、放射線、廃炉の分野に就職を希望する学生、関連する卒業研究に取り組んでいる学生を優先する。	最大4名(ただし、事前課題による選抜有)	約5万円程度	原子力規制人材育成事業費から旅費支給有。
高専生のための英語キャンプ	8月下旬の2週間程度(予定)	シンガポール	シンガポールポリテクニク	高専生のためにカスタマイズした15日間の短期集中型語学研修プログラム。総合的な英語によるコミュニケーション力向上を目指し、英語の対話・記述スキル、他、基礎的なビジネスコミュニケーションスキルについて学ぶ。	全学生 (全国の高専生対象)	TOEICスコア400点以上の英語力を有していることが望ましい。	定員に定め無し	約20万円程度	JASSO奨学金(10万円)へ申請可。(※1) 本科1・2年生については、国際交流基金から9万円程度の補助有。(※2)
シリコンバレージャパン ユニバーシティ短期留学	9月前半の1週間程度(予定)	アメリカ・サンタクララ	シリコンバレージャパン ユニバーシティ	起業家の聖地とも呼ばれるシリコンバレーで多くのチャレンジャーと出会い、刺激を受け、グローバルな人材になるために最も重要なコミュニケーション力を身に付けながら、起業における実務知識の基礎を学ぶほか、プレゼンテーション能力を向上させることを目指す。	全学生 (東北地区・関東地区の各高専生対象)	特に無し	定員に定め無し	約37万円程度	本校国際交流基金から8万円程度の補助有。(※2)
大連東軟信息学院短期留学	9月3日～9月16日(予定)	中国・大連	大連東軟信息学院	体験重視型プログラムで、餃子作り、太極拳、中国茶体験、京剧鑑賞などの異文化体験のほか、中国情報産業・市場に関する英語による講義や現地企業見学なども盛り込んでいる。長い歴史における中国文化だけではなく、中国の“今”について理解を深めることができるのが特徴。なお、滞在中は日本語学部の学生がチューターとなり、様々な面でのサポートがある。	全学生 (東北地区・関東地区の各高専生対象)	特に無し	定員に定め無し	約7万円程度	本校国際交流基金から8万円程度の補助有。(※2)
ハートフォードカレッジ オックスフォード語学研修	9月1日～15日(予定)	イギリス・オックスフォード	ハートフォードカレッジ オックスフォード	語学研修のみならず、工業系・ビジネス系の学科に関連した施設見学を行い、それぞれの専門分野の英語に触れる。古い伝統をもつ学内で生活しながら、英語と自分の専門に合った見学が可能で、貴重な体験を通じて、英語のみならず専門分野における勉学へのモチベーションをも高めることができる。	全学生。ただし、プログラム開始時点で16歳以上の者。 (東北地区・関東地区の各高専生対象)	特に無し	定員に定め無し	約35万円程度	本校国際交流基金から7万円程度の補助有。(※2)
ISTS2019 -International Seminar on Technology for Sustainability-	10月6日～10月12日	タイ・バンコク	タマサート大学	高専機構とタイ・タマサート大学が主催し、持続可能な社会への貢献に関するワークショップをとおしてグローバルリーダーに不可欠なグローバルコミュニケーション能力の向上、多様な集団で協働する能力の向上、国際感覚の涵養に貢献することを目的とする。	専攻科1年生及び専攻科進学希望の本科4・5年生 (全国の高専生対象)	TOEICスコア400点以上の英語力を有していること。	53名 (全国高専から)	約7万円程度	高専機構から旅費・現地宿泊費の支給有。
平成31年度トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム【地域人材コース】	各自の留学計画により異なる (28日以上6ヶ月以内)	各自の留学計画により異なる	各自の留学計画により異なる	福島県浜通り地域の企業、いわき市及び高等教育機関等で構成する協議会により運営されるプログラム。 海外留学と地域企業等でのインターンシップを組み合わせた地域独自のプログラムを通じて、地域の活性化に貢献し、地域に定着する意欲のあるグローバル人材の育成を目的としている。	渡航時に、福島県浜通りに設置された高等教育機関に在籍している学生	福島県浜通り地域企業への就職を希望する者	応募人数に制限無し。 採用人数は未定。	各自の計画により異なる	奨学金、留学準備金及び授業料が支給される。内訳は派遣先地域等により異なる。
平成31年度トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】	各自の留学計画により異なる (14日以上1年以内)	各自の留学計画により異なる	各自の留学計画により異なる	日本学生支援機構によるプログラム。海外での異文化体験や自主活動を伴う留学を推奨することにより、多様な経験と自ら考え行動できるような体験の機会を提供する。学生自らが作成した計画に基づいた多様な留学を支援することで、個性あふれる留学生からなるネットワークを形成し、グローバルに活躍できる力の育成と自らの経験を新しい留学文化の醸成に還元してもらうことを目的としている。	本科1～2年生 (留学時に日本の高校等に在籍し、帰国後も卒業を目指す者。)	特に無し	応募人数に制限無し。 採用人数は未定。	各自の計画により異なる	授業料、現地活動費及び往復渡航費に充当されることを想定した奨学金が支給される。内訳は派遣先地域等により異なる。
ホームステイ型英語体験研修	夏季休業期間及び春季休業期間中であれば、希望に応じ調整可能。 (2～3週間程度)	オーストラリア・シドニー または カナダ・トロント	ユニバーサルイングリッシュカレッジ または OHC Toronto	ホームステイと語学研修を主としたプログラムで、ホストファミリー及び様々な国籍のクラスメイトと異文化交流を行いながら、英会話を実践することで英語力向上を目指し、英語学習に対するさらなる動機付けを図る。	全学生	特に無し	定員に定め無し	約40万円程度	本校国際交流基金から10万円程度の補助有。(※2)
国際原子力人材育成イニシアティブ事業プログラム カナダ研修	9月上旬または3月上旬の2週間程度(予定)	カナダ・ハミルトン、トロント	マクマスター大学、日立カナダ 等	カナダの原子力業界における小型炉の開発や、アルゼンチンやインドへ向けた輸出について理解する。また、原子力関連研究室見学後に、現地教員や学生との討論を行い原子力に関する知識を深めたり、研究用原子炉の見学を行い、燃料や用途について理解する。これらの活動を通じて、海外でのマネージメントや海外の原子力関連日本企業で働くことへの意義などを考えさせる。	本科4年生以上 (専攻科生含む)	原子力や放射線、廃炉の分野に就職を希望する学生、関連する卒業研究に取り組んでいる学生を優先する。	最大3名 (ただし、事前課題による選抜、県内大学生からの応募も有)	約5万円程度	文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業から旅費支給有
国際原子力人材育成イニシアティブ事業プログラム イギリス研修	3月上旬の2週間程度(予定)	イギリス・ロンドン、シェフィールド	東京電力 ロンドン事務所、 セラフィールド社 シェフィールド大学 など	シェフィールド大学で、ガラス固化やジオポリマー等の放射性廃棄物処理処分に関する研究に触れさせる。大学教員や学生との交流を通じて国際感覚を備えつつ、原子力固有の国際的共通課題について考えさせる。また、東京電力ロンドン事務所やイギリス国内の原子力関連企業見学などを通じて、原子力分野において海外で働くことへの興味を高める。	全学生	原子力や放射線、廃炉の分野に就職を希望する学生、関連する卒業研究に取り組んでいる学生を優先する。	最大4名 (ただし、事前課題による選抜、県内大学生からの応募も有)	約5万円程度	文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業から旅費支給有
長岡高専主管 メキシコグアナファト高専短期研修 ※学内締切10月18日(金)	3月中の10日間程度 (3/5,6-3/14,15予定)	メキシコ・グアナファト	メキシコグアナファト高専	学生交流・企業見学・スペイン語講座等を通じ、メキシコ文化に対する理解を深め、グローバルな視野を持つきっかけを提供することを目的としている。 長岡高専から7名の参加者有。引率有(長岡高専・福島高専[教員未定])	全学生	特に無し	2～3名程度	約30万円程度	本校国際交流基金から8万円程度の補助有。(※2)
アジア地区海外インターンシップ	3月中の2～3週間程度(予定)	未定	未定	本校第1回卒業生佐藤辰彦氏及び前校長奈良宏一先生による基金を基に、グローバルに活躍できる人材育成のため、同じアジア地域での企業研修を提供する。意欲がありアグレッシブに取り組む学生を募集している。	本科3年生	特に無し	3名	自己負担はほぼ無しの見込み。 (研修先及び期間により異なる)	本校第1回卒業生佐藤辰彦氏及び前校長奈良宏一先生による基金から、旅費及び滞在費に応じた額の奨学金を支給予定。
チェンマイ大学付属語学学校 英語・タイ文化体験研修	3月中の2～週間程度 (3/8-3/21予定)	タイ・チェンマイ	チェンマイ大学付属語学学校	英語を母語とする教員指導の下、英語学習を行う。チェンマイ大学の学生がチューターとしてサポートし、ムエタイ体験や象の飼育体験・タイ料理・タイ舞踏教室などのタイ文化体験も併せて行うことができるのが特徴。宿泊は研修施設近隣のチェンマイ大学寮に滞在。	本科1～4年生及び専攻科1年生	特に無し	定員に定め無し	約18万円程度	本校国際交流基金から5万円程度の補助有。(※2)
第7回キャンパスサステイナブル国際会議	令和2年3月30～31日	フィリピン・マニラ	アダムソン大学	サステイナブルの促進・発展を目指し、学内外で行われるサステイナブルに関する活動・事業・研究についての発表が行われる学生主体の国際会議。	本科3年生以上である者	特に無し	定員に定め無し	約8万円程度	本校国際交流基金から5万円程度の補助有。(※2)

\*1.JASSO(日本学生支援機構)奨学金申請要件について  
 (1)本科3年生以上であること  
 (2)成績評価係数が2.3以上であること。ただし、2.0以上2.3未満の場合でも、必要書類の提出等により認められる場合有。

\*2.福島工業高等専門学校国際交流基金助成事業として、本校が認めた国際交流活動において海外に派遣する学生に対し、帰国後に助成金を支給しています。  
 ただし、航空券等の料金によって助成額は変動するため、参加及び旅費決定後に正式な額をお知らせしています。

【問合せ先】  
 福島工業高等専門学校  
 学生課教務係(国際交流担当) 赤木  
 〒970-8034  
 いわき市平上荒川字長尾30  
 TEL: 0246-46-0728  
 E-mail: int-section@fukushima-nct.ac.jp